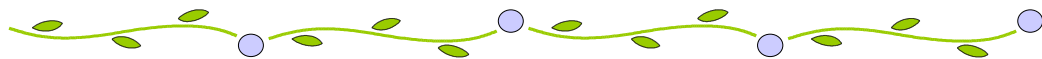


市川を調べる

編集 市川を調べる会(会長・星 一郎/事務局・木村隆一)
発行 八戸市立 市川公民館 (館長 氣田 武男)



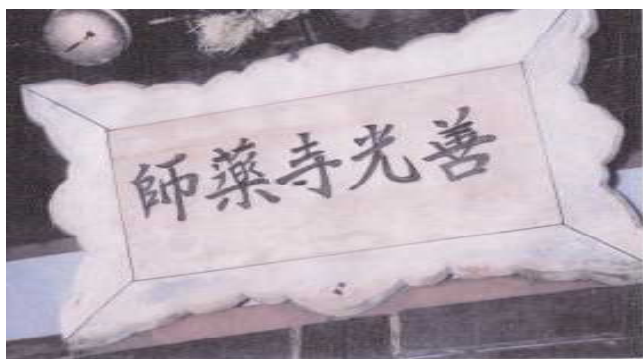
多 賀 台

雷平の神社仏閣 (iii)

星 一 郎

◎多賀台団地の旧地名は **雷平** であって、**新撰陸奥国誌**によれば、「昔**風穴平**と呼ばれ、今雷平という」とある。八戸せんべいの耳のように、団地周辺に取り残された雷平にある神社仏閣のうち、風穴家とかかわりがある「善光寺薬師・雷代光明稻荷」及び「駒峯神社」とに分けて述べてみたい。

1. 由 来 「善光寺薬師・雷代光明稻荷」



◎風穴房蔵28歳の時、「えんぶり7人組」を引き連れ、徒歩で一日半かけて開業したばかりの盛岡駅より一ヶ月越えの全国神社仏閣参りの旅に出た。この時戴いてきたお札やご本尊を納めるために「**やしろ**」が置かれた。
◎風穴家の墓誌には、風穴房蔵 昭和24年(西暦1949)7月26日、88歳没とあり、盛岡駅開業は明治23年(1890)11月1日である。

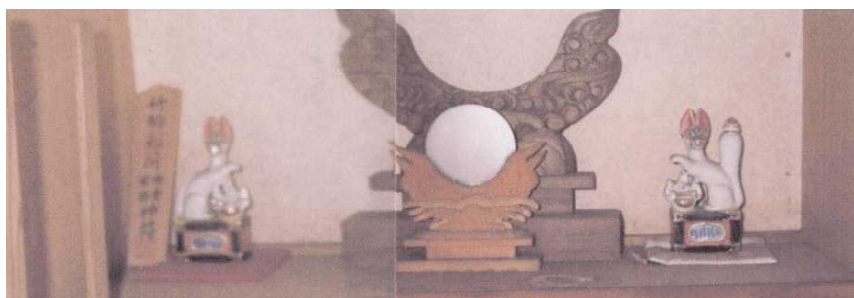
2. 「善光寺薬師」 除病、安産の神様

- ◎ご 本 尊：薬師如来
- ◎神 池(湧水)：目洗薬水、薬風呂とされていた。現在も湧いている。
- ◎場 所：旧、田中公園北門奥



3. 「雷代光明稻荷」 五穀豊穰 商売繁盛の女神様

- ◎ご 本 尊：神鏡 ⇒ 蔵稻魂大神(稲の穀霊を神格化したもの。稲をつかさどる神)
お札 ⇒ 竹駒稻荷商売繁昌神符 神使 ⇒ 白狐対
- ◎場 所：旧前は**善光寺薬師やしろ**の北奥50メートルにあったが、駒峯神社の建立時に移設された。



◎以上は、昭和19年故人・風穴州一に嫁いだサダさんが、三代前の祖父より正座して聞かされたとのことである。

〈雷平の神社仏閣〉は、次回も掲載予定。